

新長崎県庁舎の概要

完成イメージ図

① 長崎港から見た敷地全体のイメージ図



② 新 JR 長崎駅舎側から見た敷地全体のイメージ図



③ 南西側岸壁から見た行政棟・防災緑地・警察棟のイメージ図



※ 新 JR 長崎駅舎からの接続デッキとは旭大橋の低床化後に設置する予定としています。このため、両方が並存することはありませんが、新庁舎と各々の関係を示すために、並存表示としています。なお、接続デッキの完成時期や設置位置、形状は未定です。

※ 本イメージ図はあくまでイメージであり、変更となることがあります。

※ 防災緑地は今後、別途設計予定です。

建設計画地

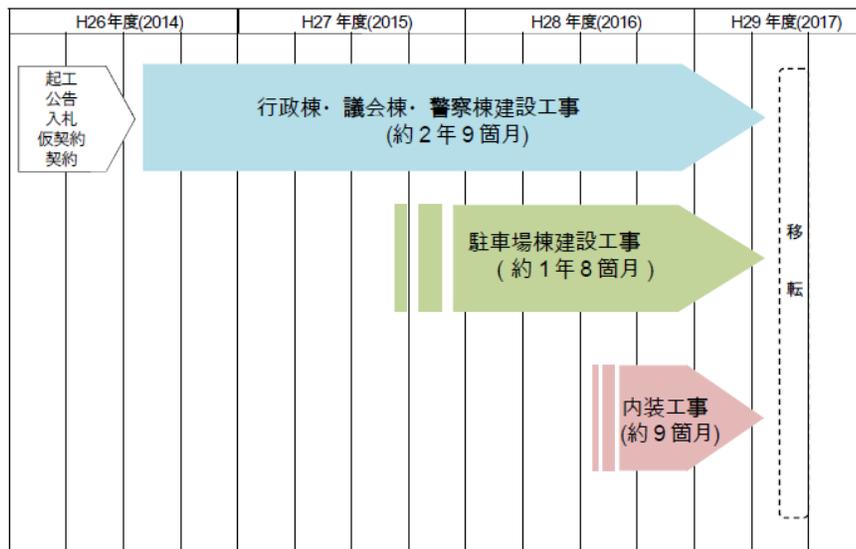
スケジュール

所在地

長崎市尾上町（長崎魚市跡地）

敷地面積

30,182 m²



建物の規模

	行政棟	議会棟	駐車場棟	警察棟
建築面積	10,588 m ²	1,939 m ²	4,832 m ²	4,206 m ²
延床面積	46,565 m ²	6,699 m ²	11,639 m ²	21,734 m ²
駐車台数	43台	—	352台	55台
規模	地上8階 地下階無	地上5階(一部塔屋あり) 地下階無	地上3階 地下階無	地上8階 地下階無
構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)
最高高さ	39.96m	27.75m	10.32m	35.46m

防災拠点としての整備

防災ヘリコプター等が発着できる屋上ヘリポート

災害時の物資輸送等の拠点となる防災緑地



庁舎：建物損傷を最小にする免震構造を採用し、1階フロアの主要な床高を標高4.8m程度とする

新庁舎は、重要な防災拠点施設として、各種災害に対する高い安全性を確保し、災害等発生時には、防災拠点としての県の司令塔機能を発揮します。

- 災害発生時の信頼性に優れた電力受電方式を採用し、通信回線は2経路から引き込む
- 非常用発電機は1週間程度の連続運転が可能で、断水対応のため、貯水槽や井水設備等を整備

行政棟

エントランスホール、 協働活動スペースなど（1階）

- ・ 高齢の方や障害のある方が安心して快適に利用できる庁舎
- ・ 情報発信や県民協働活動等のスペースを設け、各種イベント開催にも活用
- ・ 閉庁日の利用も可能



<エントランスホールのイメージ図>

食堂（2階）・展望施設（8階）

- ・ 長崎港をはじめ、長崎市街地の眺望を楽しむことができる空間



<食堂のイメージ図>



<展望施設のイメージ図>

議会棟

本会議場（3階）〔傍聴席4階、300席〕

- ・ 駐車場棟屋上広場からのアクセスのしやすさに配慮して3階に配置



<本会議場のイメージ図>

警察棟

- ・ 警察業務に即したセキュリティレベルの設定や警察車両の緊急出動動線を確保



<エントランスホールのイメージ図>